取扱説明書

CDポータブルシステム

型名 **NX-PB10-B**
NX-PB10-P
NX-PB10-W
NX-PB5-S

MP3/WMA

お買い上げいただきありがとうございます

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

http://www.victor.co.jp/reg/

※ JVCは日本ビクターのグローバルブランドです。

LVT2190-001C

はじめに

もくじ

- Microsoft、Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- "Made for iPod" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- "Made for iPod" とは、iPod専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- SDHCロゴは商標です。

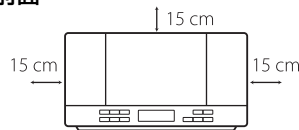
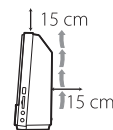
本書の見かた

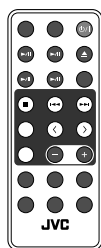
- 本書では、主にNX-PB10のイラストを使って説明しています。
- 本書では、**主にリモコンのボタンを使って**操作説明をしています。本体にも同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- 本書ではMP3/WMAの説明をする場合、「ファイル」と「曲」、「グループ」と「フォルダ」は同じ意味で使っています。

本機を設置するときは

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

前面

側面

付属品の確認

お使いになる前にお確かめください。

- リモコン RM-SNXPB10または RM-SNXPB5 (1個)
- リチウム電池 CR2025 (1個)
  (出荷時にリモコンの中に入っています)

本機のご使用上の注意

- ディスク/iPodウィンドウが開いたまま、本機を運ばないでください。
- 本機を移動するときは、必ずディスク、iPod、USB機器、SDカードを取りはずしてから電源コードを抜いてください。
- 本機の電源を切るときは、ディスク/iPodウィンドウを閉めてください。

再生できるディスク/ファイル/機器について

ディスク/ファイルのご注意

- 本機で再生できるディスク/ファイルは以下のとおりです。
  - 音楽CD(「COMPACT disc」のロゴのあるディスク)
  - 音楽CD(CD-DA)フォーマットのCD-R/CD-RW
  - CD-R/CD-RW(フォーマットはISO 9660 Level 1またはLevel 2)のMP3/WMAファイル
  - USB機器またはSD/SDHCカード(最大転送速度は2 Mbps)のMP3/WMAファイル
- 本機では「パケットライト方式」でフォーマットされたディスクは再生できません。
- MP3/WMAファイルについて
  - 録音状態や記録方法によっては再生できないMP3/WMAファイルもあります。
  - 本機はディスク1枚、USB機器1台またはSDカード1枚あたり、99グループと999曲まで認識できます。
  - 本機ではタグ情報(version1)を表示できます(ただし半角英数字のみ)。
- USB機器/SDカードについて
  - 2ギガバイト以上のファイルは再生できません。
  - USB機器またはSDカードのなかには、本機で再生できないものがあります。また、本機はDRM(Digital Rights Management)には対応していません。そのため、パソコンでインターネットからダウンロード購入したファイル(著作権保護されたファイル)などは再生できません。

USB機器について (NX-PB10のみ)

USB機器はNX-PB10のみ再生できます。

- USB機器を接続したりはずしたりするときは、本機の電源を切ってください。電源が入っていると、本機やUSB機器の故障の原因となります。
- USB機器をはずすときは、音量を最小にしてください。
- USBハブは使用しないでください。
- USB機器の容量は4GB以下を推奨します。
- USB機器のセキュリティ機能は、解除してください。
- ソース(音源)が「USB」になっているときに、USB機器が充電されます。USB機器によっては、ソース(音源)が「USB」になっていても充電されない場合もあります。
- すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。
- 本機からUSB接続した機器にデータを送ることはできません。
- USB機器の再生について
  - 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くかかります。
  - 再生時は、先に作成したグループから順番に再生します。グループ内では、記録した曲順で再生します。
    - 記録のしかたによっては順番が異なる場合があります。
    - フォルダ名やファイル名を変えると、順番が変わることがあります。

iPodについて

- iPodを接続するときは、必ず本機の音量を最小にしてください。音量は再生してから調節してください。
- iPodを接続したまま本機を移動させないでください。iPodが落下して、破損するおそれがあります。
- 本機のコネクターの端子部分に直接触ったり、物を当てたりしないでください。破損の原因となります。
- 本機の電源が入っている間、iPodは充電されます。
- 本機ではiPodに録音できません。
- 表示窓に表示される情報はiPodの種類により異なります。
- iPodが正しく再生されないときは、iPodの最新版ソフトウェアをダウンロードし、アップデートしてください。
  - iPodについて詳しくは、アップル社のウェブサイトをご覧ください。<http://www.apple.com/jp/>

対応iPod

- iPod nano(第2、第3、第4、第5、第6世代)
- iPod nano
- iPod touch(第2、第3、第4世代)
- iPod touch
- iPod(第4世代)
- iPod classic
- iPod photo(第4世代)
- iPod video(第5世代)
- iPod mini(第2世代)
- iPod mini

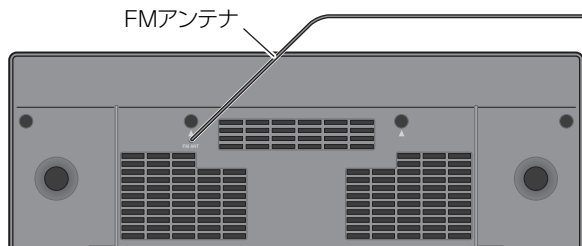
iPodの最新の対応状況については、弊社ホームページをご覧ください。

SDカードについて

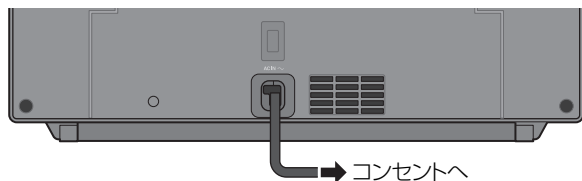
- SDカードスロットにSDカード以外のものを挿入しないでください。
- ひびが入ったり変形しているSDカードは使用しないでください。
- SDカードを本機から取り出すときは、必ず再生を停止してください。データの損傷の原因となることがあります。
- SDカードを挿入するときは、SDカードの向きをご確認ください。SDカードの向きが正しくないと、本機からの取り出しができないことがあります。
- miniSD™/microSD™ カードを本機に挿入するときは、かならずSDアダプターをお使いください。
- SDカードは32GBまで対応しています。

準備をする

FMアンテナの準備

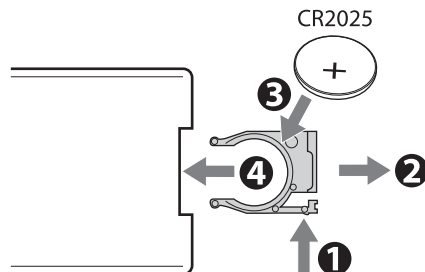
FMアンテナを最も受信状態の良い位置と方向に伸ばしてください。

- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。

電源コードの接続

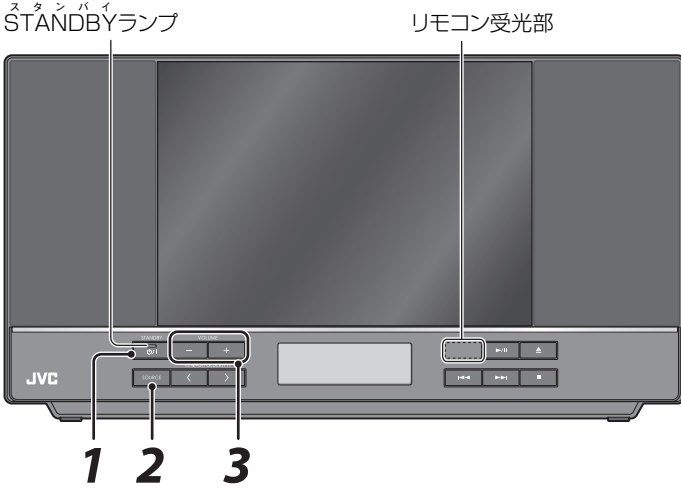
すべての接続が終わったら電源コードを接続します。

初めて本機をお使いになるときは、時計の設定を行なってください。(6ページ)

リモコンの準備

初めてリモコンを使用するときには、リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。

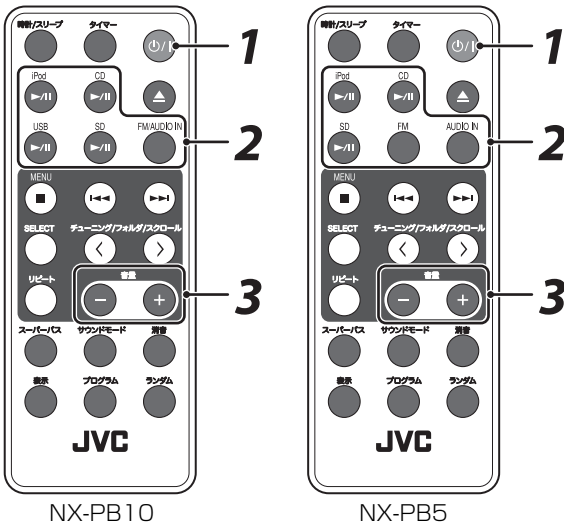
電池の交換方法:

ご注意:

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は、「安全上のご注意(別紙)」をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい電池と交換してください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

基本操作

1 電源を入れる

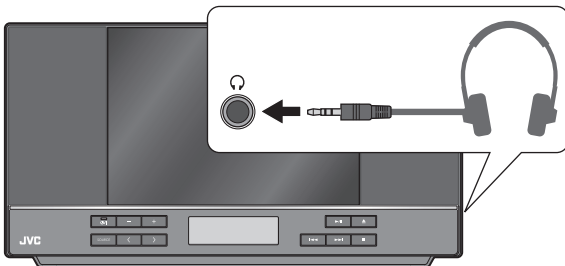
2 ソース（音源）を選択する

3 音量を調節する

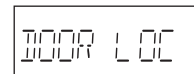
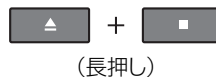
- 電源を切るには、[⏻/I]を押します。

> **極端に音量を上げた状態で電源を切らないでください。**
> 次に電源を入れたときに、突然大きな音が出て、スピーカーやヘッドホンが破損したり、聴覚障害の原因となることがあります。
> - 音量が「17」以上のときに電源を切ると、次回電源を入れたときに音量が自動で「16」に設定されます。

ヘッドホンを使う

ヘッドホン（別売り）のステレオミニプラグを 🎧 端子に接続します。

ヘッドホンを使うときのご注意:
ヘッドホンをつける前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前には、必ず音量を最小にしてください。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

ディスク/iPodウィンドウをロックする — チャイルドロック

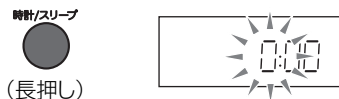
ディスク/iPodウィンドウが閉まっているときに、ディスク/iPodウィンドウが開かないように設定できます。小さなお子様のいたずら防止などに便利です。
（電源が入っているときに、本体のボタンからのみ操作できます）

（長押し）

DOOR LOC

DOOR LOCKED ◄─► DOOR UNLOCKED
（スクロールします）

時計/音/表示窓の設定

時計を合わせる

電源が切れているとき（スタンバイ時）に時計を合わせることができます。

1 時刻設定画面を表示する

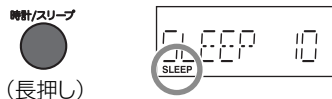
2 時刻を合わせる

- 本機の時計は月に1、2分程度のズレが生じる場合があります。定期的に時刻を合わせ直すことをおすすめします。

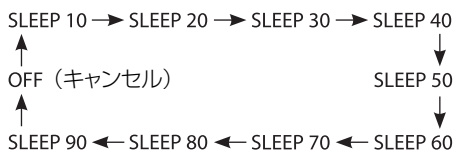
- 電源が入っているときに現在時刻を確認するには、[時計/スリープ]を押します。
- 電源プラグを抜いたり、停電で電源が切れた場合は、時計を合わせ直してください。

おやすみタイマーを使う

電源が入っているときにおやすみタイマーを設定することができます。

1 おやすみタイマー設定画面を表示する

2

時計/スリープ

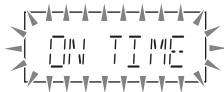
押すごとに表示が以下のように変わります。

- 「SLEEP XX」（XXはおやすみタイマーの設定時間）表示中に設定してください。
- 残り時間を確認するには、[時計/スリープ]を押しつづけます。

デイリータイマーを使う

デイリータイマーを使うと、お好みの音楽で目覚めることができます。

- デイリータイマーを設定する前に、あらかじめ再生したいソース（音源）を準備してください。

1 デイリータイマー設定画面を表示する

（長押し）

設定項目が表示されます。

2 タイマーの内容を設定する

以下の項目を設定します。

ON TIME	タイマーの開始時刻
OFFTIME	タイマーの終了時刻
SOURCE	再生するソース（音源） • 「A-IN」は選べません。

① 設定する項目を選ぶ

② 選んだ項目の設定を開始する

③ 設定する

- 時刻（「時」「分」）を設定する: [▶▶I]または[I◀◀]を押し、[**タイマー**]を押す
- ソース（音源）を設定する: [CD ▶/II]、[iPod ▶/II]、[USB ▶/II]、[SD ▶/II]または[FM/AUDIO IN]を押し、[**タイマー**]を押す
  - 「TUNER」を選んだときは、[▶▶I]または[I◀◀]を押してプリセット番号を選びます。

- しばらくの間操作をしないと、デイリータイマーの設定は中断されます。
- 設定内容を修正するには、デイリータイマーの設定が中断されるまで待ってから、手順*1*に戻り設定し直します。

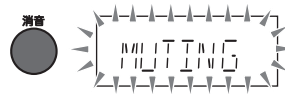
3 デイリータイマーを「入」にする

インジケーターが点灯します。

4 電源を切る

- デイリータイマーを解除するには、[**タイマー**]をインジケーターが消えるまでくり返し押します。

音を調節する

一時的に消音する

- もう一度押すと元の音量に戻ります。

重低音を強める

サウンドモード

お好みのサウンド効果を選びます。

タグ情報を表示する

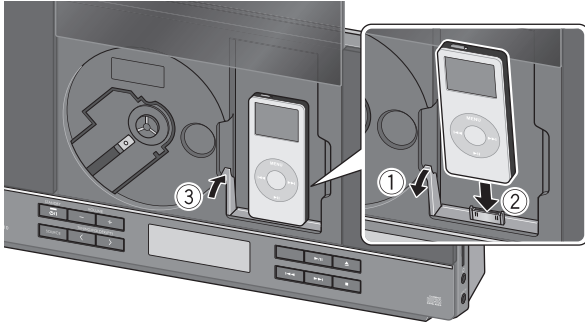
MP3またはWMAを再生中に再生中の曲のタグ情報を表示することができます。

ID3 ON ⟷ ID3 OFF

- 「ID3 ON」を選んでいるときに、ID3またはWMAのタグ情報が表示されます。（ただし日本語表示はできません。）

iPod

iPodを接続する

[⏏]を押してディスク/iPodウィンドウを開き、iPodをiPodドックに接続します。

- 接続するときは、かならずiPodの保護カバーをはずしてください。
- iPodはしっかりと差し込んでください。
- ディスク/iPodウィンドウを閉じるには、[⏏]を押します。
  - iPodウィンドウを閉じるときは、iPodドックが手前に倒れたままになっていないことをご確認ください。
- iPodについては**3**ページもご覧ください。

再生する

IPOD

- **再生、または一時停止する:** [iPod ►/II]を押す
- **曲を選ぶ:** [►►I]または[I◄◄]を押す
- **早送りする:** [►►I]を押しつづける
- **早戻しする:** [I◄◄]を押しつづける
- **iPodをスリープさせる:** [iPod ►/II]を押しつづける

- iPodのイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。iPodの操作については、iPodの取扱説明書をご覧ください。

メニューの操作

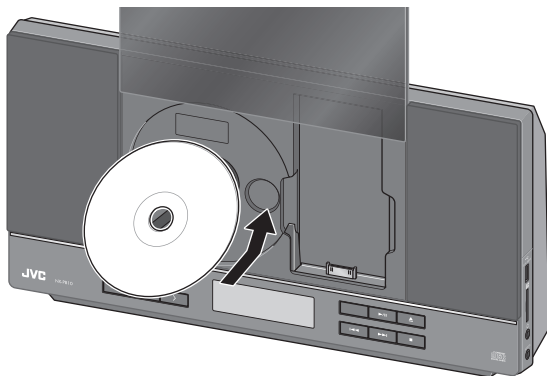
メニューを表示する/前のメニューに戻る

項目やメニューを選ぶ

- iPodの種類によっては、iPodの画面でのみメニューが操作できます。
- iPod touchの接続中に次の操作を行うときは、iPod touchで操作します。
  - ホームボタンを押す
  - ホーム画面でアプリケーションアイコンを選ぶ
  - スライダーをドラッグする

ディスク/USB機器/SDカード

ディスクを入れる

[⏏]を押してディスク/iPodウィンドウを開き、ディスクを入れます。

- ディスクのラベル面を手前に向けて入れてください。
- ディスク/iPodウィンドウを閉じるには、[⏏]を押します。
- ディスクを入れたり取り出したりするときは、本機が倒れないよう、ご注意ください。

再生する

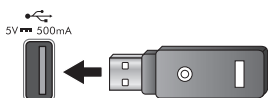
ディスクを再生する

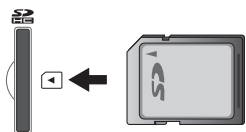
USB機器を再生する

SDカードを再生する

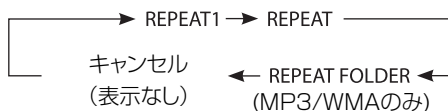
- **ディスクを再生、または一時停止する:** [CD ►/II]を押す
- **USB機器を再生、または一時停止する:** [USB ►/II]を押す
- **SDカードを再生、または一時停止する:** [SD ►/II]を押す
- **曲を選ぶ:** [►►I]または[I◄◄]を押す
- **早送りする:** [►►I]を押しつづける
- **早戻しする:** [I◄◄]を押しつづける
- **グループを選ぶ (MP3/WMAのみ):** [〈]または[〉]を押す
- **停止する:** [■]を押す

USB機器を接続する

USB機器はNX-PB10のみ再生できます。

- USB機器については**3**ページもご覧ください。

SDカードを挿入する

- SDカードを取り出すときは、SDカードを押してSDカードスロットから抜いてください。
- SDカードについては**3**ページもご覧ください。

リピート再生する

押すごとに表示が以下のように変わります。

REPEAT1	現在の曲をくり返す
REPEAT	すべての曲をくり返す
REPEAT FOLDER	現在のグループをくり返す（MP3/WMAのみ）

次のページへつづく

ディスク/USB機器/SDカード(つづき)

ランダム再生する

RANDOM ←→ キャンセル(表示なし)

ランダム(無作為)な順序で曲が再生されます。
すべての曲をランダムに再生し終わると、自動的に停止します。

プログラム再生する

1 プログラム再生するソース(音源)を再生し、停止する

2 プログラム設定画面を表示する

3 曲番号を選ぶ

音楽CDの場合:

MP3/WMAの場合:グループを選び(①)、曲を選びます(②)。

①
②
- 32曲まで登録できます。

4

再生が始まります。

- プログラム内容を消去するには、再生を停止したあと[■]を押します。

FM放送

本機はAM放送には対応していません。

放送局を選ぶ

1 [FM/AUDIO IN] または [FM] をくり返し押して、「FM」を選ぶ

NX-PB10　　NX-PB5

2 選局する

(長押し)

自動的に選局を始め、放送を受信すると止まります。

- 選局を止めたいときは、もう一度押します。
- くり返し押すと、0.1 MHzずつ変わります。

FM放送をモノラル受信する

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいときは、モノラル受信に切り換えると聞きやすくなることがあります。

NX-PB10　　NX-PB5

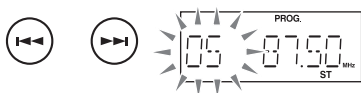
- モノラル受信時(FM MONO)は、音声が聞きやすくなりますが、ステレオ効果はなくなります。
- ステレオ受信に戻すときは、[FM/AUDIO IN]または [FM] をくり返し押して、「FM」を選びます。
  - ステレオ放送を受信するとSTインジケーターが点灯します。

放送局を記憶させる(プリセット)

最大20局まで記憶させることができます。

1 記憶させたい放送局を受信中にプリセット番号を表示させる

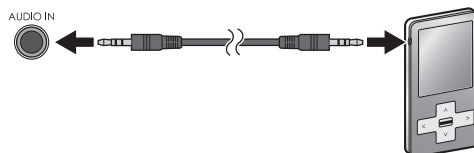
プリセット番号が点滅します。

2 記憶させたい番号を選ぶ

3 選んだ番号に放送局を登録する

記憶させた放送局を呼び出す

外部機器

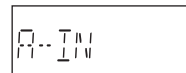
外部機器を接続する

ステレオミニプラグコード(別売り)で外部機器を本機に接続します。

再生する

[FM/AUDIO IN] または [AUDIO IN] を押して、「A-IN」を選び、接続している外部機器を再生します。

NX-PB10 FM/AUDIO IN

NX-PB5 AUDIO IN

A--IN

故障かな?と思ったら

ビクターホームページ(http://www.victor.co.jp/)から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。サービス窓口にご相談になる前に、下記の項目をチェックしてみてください。

	症状	原因/対策
共通	電源が入らない。	• 電源コードの接続を確認してください。
	設定の途中で操作が取り消されてしまう。	• 操作には時間制限があるものがあります。もう一度操作し直してください。
	リモコンから本体を操作できない。	• リモコンと本体のリモコン受光部との間を遮らないようにしてください。 • リモコンの電池を新しい電池に交換してください。
	音声が聞こえない。	• ヘッドホンをはずしてください。
FMラジオ	雑音が多く放送が聞きづらい。	• アンテナを調整し直すか、本機の設置場所を変えてください。 • 本機の電源を切り、入れ直してください。
iPod	表示窓に「IPOD」と表示されているのにiPodが再生できない。	• iPodを充電してください。
ディスク/USB機器/SDカード	再生できない。	• ディスクの文字のある面を手前に向けて入れてください。 • 「パケットライト(UDF形式)」で録音されたディスクは再生できません。 • USB機器が正しく接続されているか、またはSDカードが正しく挿入されているか確認してください。 • CD-R/CD-RWをファイナライズしてください。 • CDピックアップレンズを掃除してください。(**13**ページ)
	表示窓に「NO DISC」または「NO SONG」と表示される。	• ディスク、USB機器またはSDカードにMP3/WMAファイルが入っていません。
	MP3ファイルのID3タグが表示されない。	• 本機で表示できるタグ情報はversion1のみです。また、日本語は表示できません。
	MP3/WMAのグループやトラックが意図したように再生できない。	• ディスク:再生順は、グループやトラックを録音した書き込みソフトで決まります。 • USB機器またはSDカード:再生時は、先に作成したグループから順番に再生します。グループ内では、記録した曲順で再生します。
	ディスク、USB機器またはSDカードからの音声が途切れる。	• 汚れや傷のあるディスクは、清掃するか交換してください。 • 正しく書き込まれたMP3/WMAファイルを再生してください。 • 本機の電源を切り、USB機器を接続し直す、またはSDカードを挿入し直してください。
	ディスク/iPodウィンドウの開閉ができない。	• 電源プラグをしっかりと差し込んでください。 • チャイルドロックを解除してください。(**5**ページ)
タイマー	デイリータイマーが作動しない。	• デイリータイマーは電源が切れているときのみ動作します。電源が切れているか確認してください。

上記の処置をしても正しく動作しないときは

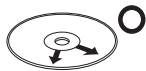
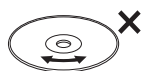
本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっています。万一、どのボタンを押しても正しく動作しないときは、一度電源コードをはずし、しばらく待ってからつなぎ直してください。

• 本機の故障または不測の事態により、ディスク、iPod、USB機器またはSDカードの再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

お手入れについて

ディスクの取り扱いとお手入れ

CDケースから出すとき

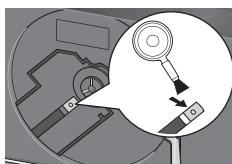
- ディスクにテープやシールなどを張ったり、字を書いたりしないでください。
- ディスクは曲げないでください。
- ハートや花などの形をしたシェイプディスク（特殊形状のディスク）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- 使用後はケースに戻してください。
- ケースに入れるときに、ディスクの表面を傷つけないように気をつけてください。
- 直射日光や高温多湿をさけてください。
- ディスクをお手入れするときは、ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

本体の掃除

- パネルの操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとからからぶきをしてください。
- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、シンナーやベンジンなどの溶剤は使わないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

CDピックアップレンズの掃除

レンズにゴミがついたままにしていると、音質の低下の原因となります。
市販のブロワーなどで、レンズからゴミを取り除いてください。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力:	4 W (2 W + 2 W) (JEITA THD 10%/16 Ω)*
入力端子:	250 mV/47 kΩ
デジタル入力:	USB端子（NX-PB10のみ）

FMチューナー部

受信周波数:	76.0 MHz ～ 90.0 MHz

CDプレーヤー部

ダイナミックレンジ:	80 dB
ワウフラッター:	測定限界以下

USB 部（NX-PB10のみ）

仕様:	USB 2.0 フルスピード規格対応
対応機器:	USB マスストレージクラス機器
ファイルシステム:	FAT16, FAT32
USB出力電源:	DC 5 V ⎓ 500 mA

SDカードスロット部

対応機器:	SD、SDHC
ファイルシステム:	FAT16, FAT32

iPod 部

iPod 出力電源:	DC 5 V ⎓ 500 mA

共通

スピーカー:	1ウェイバスレフ型
スピーカーユニット:	8 cm x 2
インピーダンス:	16 Ω
電源電圧:	AC 100 V(50 Hz/60 Hz 共用)
消費電力:	25 W(電源入時) 1.00 W 以下(電源待機時)
寸法:	幅 400 mm × 高さ 215 mm × 奥行き 91 mm
質量:	約 2.3 kg

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- *はJEITA（電子情報技術産業協会）の測定法に基づく数値です。

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

【出張修理専門】のご相談窓口	
出張修理 受付センター	**(0800)800-9928**（フリーアクセス・ひかりワイド）※携帯電話・PHSなどからのご利用は(045)453-2960 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12

都府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札　幌S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条一丁目2-29
	帯広S.S.	(0155)24-4493	帯広市西五条南二十八丁目1-1 有限会社オーイーエム内
	旭川S.T. 北見S.T. 釧路S.T. 函館S.T.	お問い合わせは札幌S.C.にて承ります。	
東北			
青森	青　森S.S.	(017)723-2261	青森市緑一丁目5-1
	八戸S.T.	お問い合わせは仙台S.C.にて承ります。	
岩手	盛　岡S.S.	(019)629-3835	盛岡市門一丁目18-1キャピタルハウス1F
	水沢S.T.	お問い合わせは仙台S.C.にて承ります。	
秋田	秋　田S.S.	(018)824-3189	秋田市八橋本町三丁目6-23 TMビル1F
	大館S.T.	お問い合わせは仙台S.C.にて承ります。	
宮城	仙　台S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形S.T. 酒田S.T.	お問い合わせは仙台S.C.にて承ります。	
福島	郡　山S.S.	(024)952-6331	郡山市堤一丁目3
関東・甲信越			
新潟	新　潟S.C.	(025)242-3431	新潟市中央区鐙一丁目5-23
長野	長　野S.S.	(026)221-6583	長野市大字川合新田962-1
	松本S.T.	お問い合わせは長野S.S.にて承ります。	
群馬	前　橋S.S.	(027)255-5921	前橋市大渡町一丁目10-1 日本ビクター（株）前橋工場第2棟1F
栃木	宇都宮S.S.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷三丁目5-22
埼玉	大　宮S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区宮原町一丁目202
千葉 茨城	千　葉S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏　S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
神奈川	横　浜S.C.	(045)937-7185	横浜市緑区白山一丁目16-2 ケンウッドビル1F
山梨	甲府S.T.	お問い合わせは八王子S.C.にて承ります。	
東京	東東京S.C.	(03)6381-8400	墨田区八広五丁目11-1石塚ビル1F
	大　田S.C.	(03)5748-3701	大田区池上二丁目8-10プラムビル1F
	八王子S.C.	(042)646-6914	八王子市石川町2969-2 日本ビクター（株）八王子工場 第4棟
【業務用機器専門】のご相談窓口			
CSセンター		(03)5631-2235	墨田区八広五丁目11-1

都府県名	窓口名	TEL	所在地
東海・北陸			
静岡	静　岡S.S.	(054)262-8941	静岡市葵区沓谷五丁目61-1
	沼津S.T. 浜松S.T.	お問い合わせは静岡S.S.にて承ります。	
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三　河S.S.	(0564)25-0321	岡崎市葵町2-23宝ビル101号室
	名東S.T.	お問い合わせは名古屋S.C.にて承ります。	
石川	金　沢S.S.	(076)269-4821	金沢市新保本4丁目65-17
富山	富山S.T.	お問い合わせは金沢S.S.にて承ります。	
福井	福井S.T.	お問い合わせは金沢S.S.にて承ります。	
近畿			
京都 滋賀	京　都S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
大阪	大　阪S.C.	(06)6304-5735	大阪市淀川区田川二丁目4-28
	堺S.T.	お問い合わせは大阪S.C.にて承ります。	
兵庫	神　戸S.T.	お問い合わせは大阪S.C.にて承ります。	
【業務用機器専門】のご相談窓口			
近畿エンジニアリングセンター		(06)6304-6715	大阪市淀川区田川二丁目4-28
中国			
岡山	岡　山S.C.	(086)243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広　島S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南三丁目9-17
	福山S.T.	お問い合わせは広島S.C.にて承ります。	
山口	山口S.T.	お問い合わせは広島S.C.にて承ります。	
島根	松　江S.S.	(0852)31-8900	松江市学園一丁目16-39
鳥取	鳥取S.T.	お問い合わせは広島S.C.にて承ります。	
四国			
香川 高知	高　松S.C.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
愛媛	松山S.T. 宇和島S.T.	お問い合わせは広島S.C.にて承ります。	
九州・沖縄			
福岡 佐賀	福　岡S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F
	北九州S.S.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野二丁目15-12
熊本	熊　本S.S.	(096)383-7750	熊本市水前寺六丁目46-21 星光交易ビル1F
鹿児島	鹿児島S.S.	(099)282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖　縄S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜一丁目13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　(1109)

※略号について　S.C.はサービスセンター、S.S.はサービスステーション、S.T.はサテライト（出張修理拠点）の略称です。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター		
	(0120)2828-17（フリーダイヤル）	
	携帯電話、PHSなどからのご利用は下記の番号へおかけ願います。	
	(045)450-8950	〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3丁目12

別売りのオプション品

- ステレオミニプラグコード:　CN-203A(1.5 m)

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
品番は変更されることがあります。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
14ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**0120−2828−17** 携帯電話･PHS･FAXなどからのご利用は **電話(045)450−8950** **FAX(045)450−2275** 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

●ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、保証書(別紙)をご覧ください。
ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

1110KMMMDWMTS